

## OpenRTM-aist (C++) - バグ #846

### CrobaPort::deactivateInterfaces で例外 ObjectNotActive が発生する

2009/08/03 19:00 - 匿名ユーザー

ステータス:	終了	開始日:	2009/08/03
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<ul style="list-style-type: none"><li>現象 registerProvider() にて別インスタンス名で同オブジェクトを登録した場合、deactivateInterfaces() でオブジェクトを deactivate をすると、例外 ObjectNotActive が発生する。 以下に例を示す。 <pre>// CorbaPortMock は CorbaPort を継承した class // deactivateInterfaces_public は、 deactivateInterfaces をコールしています。  MyService_impl* pImpl0     = new MyService_impl();  CorbaPortMock* port0 = new CorbaPortMock("name of port"); bool ret; ret = port0-&gt;registerProvider("registerProvider0", "Generic", *pImpl0); ret = port0-&gt;registerProvider("registerProvider1", "Generic", *pImpl0);  port0-&gt;deactivateInterfaces_public();</pre></li><li>原因 上記の例の場合、deactivateInterfaces() の deactivate_object() で "registerProvider0" のオブジェクトを deactivate した後、"registerProvider1" のオブジェクトを deactivate するが、このオブジェクトは "registerProvider0" のときに既に deactivate されたため、例外 ObjectNotActive が発生する。 処理は、例外 ObjectNotActive が発生した時点で終了してしまう。</li></ul>			

#### 履歴

#1 - 2009/08/05 17:41 - 匿名ユーザー

- 対策  
deactivate\_object() の ObjectNotActive を catch するように処理を修正。

#2 - 2009/08/07 11:36 - 匿名ユーザー

- ステータスを新規から解決に変更
- 進捗率を0から100に変更

#3 - 2010/01/08 17:24 - n-ando

- ステータスを解決から終了に変更